

PO21R064

2009年8月31日

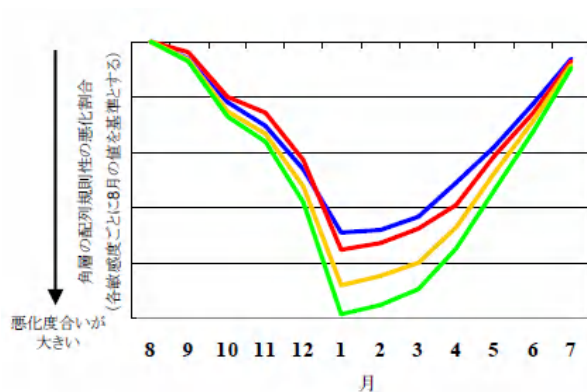
秋から冬にかけて、肌のバリア機能は急降下 健全肌の人ほど低下度が大きいので要注意

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:岩崎泰夫)は、肌のバリア機能と関連性のある角層細胞の配列規則性の年間変動について、敏感度ごとに検討を行いました。その結果、角層細胞の配列規則性の年間変動幅は、敏感度が低い人つまり健全肌に近い人ほど大きく、特に秋から冬にかけて肌のバリア機能が急降下することがわかりました。

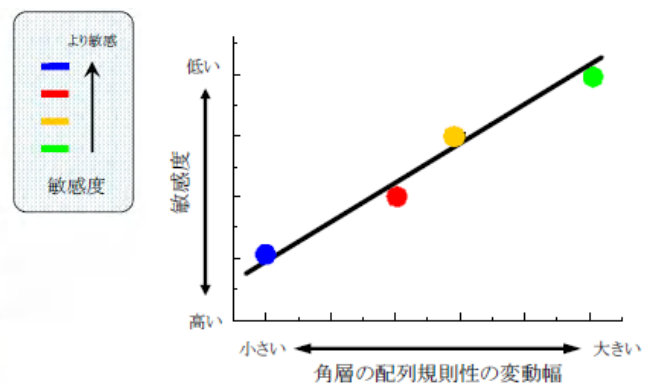
季節の移り変わりにともなう肌コンディションの変化は、多くの女性を実感するところです。ポーラ化成では1000万件以上の日本人女性の肌データ(※1)をもとに、3つの質問項目(※2)から敏感度をスコア化して、肌のバリア機能の重要な要素である角層細胞の配列規則性(以下、規則性と略)の年間変動との関連性を調査しました。その結果、規則性の年間変動幅は、健全肌に近い人ほど大きいことがわかりました。特に気温・湿度ともに低下する秋から冬にかけては、規則性が急激に悪化し、肌のバリア機能も低下するため、注意が必要です。

一般的に敏感度が高い肌ほどより肌を考慮したスキンケアが必要と考えられますが、今回の結果より、健全肌においても、季節の変わり目には肌状態が急激に変化しており、この変化に合わせてスキンケアを切り替えるなどのケアが必要であることが明らかとなりました。

ポーラ・オルビスグループは、80年間日本人女性の肌を研究してまいりました。今後も、美しく健やかな肌のための商品開発および正しいお手入れ方法を提供してまいります。



グラフ1 敏感度ごとの角層の配列規則性の年間推移



グラフ2 敏感度と角層の配列規則性の年間変動の関係

(※1) ポーラの個肌対応ブランド「アベックス・アイ」のスキンチェックデータより

(※2) 「化粧品を使って、肌がヒリヒリしたことがあるか」・「マッサージをした時やタオル・パフの摩擦で肌が赤くなったことがあるか」・「顔がかゆくなったり、赤くなったりしたことがあるか」の3項目

【リリースに関するお問い合わせ】

株ポーラ・オルビスホールディングス グループ広報室
Tel 03-3494-7123 / Fax 03-3494-7640

参考資料

【角層細胞の配列規則性について】

肌の表面にある角層は、肌のうるおいを保ち、乾燥や刺激などから肌を守る働きをしています。角層細胞が規則的に並んでいる肌(下図左)では、細胞同士が整然と重なり合っているため保護力が高く、乾燥や刺激を肌内部に入れません。一方、角層細胞の並び方が不規則な肌(下図右)はすきまが生まれてしまい、外部環境から肌を守ることができません。

